
ドラゴンクエスト外伝 紋章の神獣

くるだい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドラゴンクエスト外伝 紋章の神獣

【Nコード】

N3071P

【作者名】

くろだい

【あらすじ】

青年アレクは、師匠とともにダーマ大神殿に帰郷する。

選ばれし者たちの過去最大の闘争が、始まるうとしている。

そして紋章は集う。強きものに。

震撼の予兆

「確か、宿屋はこっちのほうにあったような……。」

青年が街の中を歩く。過去の記憶を頼りに宿屋を目指す。

「さすがに10年のブランクは記憶で賄えるもんじゃないねー。
おっ、でもあったぞ。宿屋。」

カランカラン。

宿屋の入り口のドアに付いている鐘が鳴る。

「いらっさーせー！お客さん、お一人ですか？」

宿屋の旦那の声が響く。

「お、旦那さん。俺の顔、覚えてますか？」

旦那の言葉を無視して尋ねる。

「ん？あんた俺と会ったことあんのかい？」

「会ったことあるも何も……。5歳から1年間お世話になってましたよ。」

宿屋の旦那は、口をぽーかんと開け
少しの時間を置いた後、気付いた。

「お、お、お前！アレクか！あの、アレクなのか！？」
「あのアレクって・・・まあ、あのアレクです。」

「ひゃー！でかくなつたな！
俺よりでえじゃねえか！？」

「ど、どうも。」

「ひゃー！いやー。ほんと久しぶりだな！
んで、どうして今日はダーマに戻ってきたんだい？

エルマの話じゃ、北のフェリウス溪谷に行ったって聞いてたけど
な。」

「今日は、ちょっと腕試しにね。」

「腕試し？」

宿屋の主人は、また少し考え込むようにして
しばらくしてから、はっとして驚く。

「まままま、まさかお前、アレ、やるつもりか？」

「はい。もう申し込んできましたよ。」

青年は、笑顔で答える。

「だ、く、いくら強くなってもな、あの方々に手を出すなんて・・・」

「まあ主人も見に来てくださいよ。きつと楽しいですから。」

「た、楽しいって・・・。」

「じゃ、時間があるので。今日の午後7時から中央コロシウムです！」

「ちょ、ちよっと待・・・。」

ガラんガラん

扉が閉まる。青年は外へと出て行ってしまふ。

「アレク・・・。」

コロシアムの観客たちが、一気にどよめく。

「こちらが今回の挑戦者、アレク・フォーアド！」

迎え撃つはダーマ親衛隊の鷹の眼、キュエル・デリース！」

「（あれが対戦相手……）」

アレクは正面を見つめる

「お手柔らかに頼みますよ。」

正面の女の言葉を見捨て、思考を続けるアレク。

「（女……かよ。んで片手に弓、弓使い……。一応親衛隊だからな……）」

「私の言葉を見捨てるのは結構いい度胸ね。さあ、始めましょうか。」

「挑戦者が勝てば親衛隊の選抜試験合格となります！
では、バトルスタート！」

「親衛隊さーん!!」

バトルスタートという言葉のすぐ後に、アレクが叫んだ。

「何だ。試験は始まつてるぞ!!」

「試験だからっていつて手を抜かないでくださいー!宜しくお願
いしまーす!!」

またも大声で叫ぶ。

「(こいつ・・・、親衛隊を舐めてる・・・)」

「いいだろう、全力で相手する!さあかかってこい!」

「いきますよー!!」

アレクは腰に刺さっていた剣を引き抜く

「火炎斬り!!!」

その剣の一振りから炎がほとばしり、キュエルへと向かう。

「(こいつ、魔法剣術を使えるのか・・・威力もそこそこだな)」

バシューウウウウ!!

炎の軌道避けつつ弓全体を使ってなぎ払う。

「甘いぞ!遠距離戦なら私の方が上だ!

くらえ!!」

言葉と同時に弓矢が放たれる。

「その程度の早さなら、避けられますね！」

アレクは弓矢を軽々と避ける。

「まだまだ！五月雨射ち！」

「さみだれ・・・？っておっと！」

ザツ、ザツ、ザザツ。

弓矢が4本飛んでくるものの、すべてかわすアレク。

「どうした！防戦一方か！？さあどうする？！」

キュエルがどうだと言わんばかりに言い放つ。

「こうします！！！」

アレクはキュエルの言葉を受け、言い返す。

そして、キュエルの方向へまっしぐら、走り出す。

「まっすぐ突っ込んでくるか？それでも親衛隊に挑戦状を叩きつけた奴か？！」

「煉獄斬りっ！！！」

「何っ！！！」

アレクは剣を大きく振りおろす。先程とは比べ物にならないほどの量の炎がほとばしる。

「これはどう避けますか？！」

「ぐっ。。。。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3071p/>

ドラゴンクエスト外伝 紋章の神獣

2010年12月5日03時48分発行